

設 立 趣 意 書

ライオン歯磨は、明治24年以来80年の歴史をもってありますが、創業者小林富次郎はクリスチャン実業家として、社会福祉に奉仕することを経営の理念として、終生変わることがありませんでした。

爾来、経営の組織には変更がありましたが、その創業精神は何ら変更なく受け継がれて、明治、大正、昭和の幾世代を経た現在、「健康と美のファミリー製品メーカー」として、企業を通じて社会福祉に、特に口腔衛生ならびに小児歯科の分野でわが国の先達として貢献いたしております。私は、三代目社長（現在取締役会長）を勤めること30余年、その間の業界発展に対する努力を認められ、昭和45年5月、はからずも叙勲の光栄に浴し感銘に堪えないものがあります。

然るに、わが国の歯科疾患の現状を省みますと、関係官庁ならびに歯科学界及び研究機関その他事業団体の努力により、口腔衛生の普及活動にもかかわらず、なお、憂うべき状況にあります。

最近の厚生省の統計によりますと、国民のムシ歯罹患率は85%に達し、特に乳歯のムシ歯罹患率は1歳児16%、2歳児58%、3歳児82%、4歳児92%、5歳児94%と高度の罹患状態をしめしております。

幼年期における疾患の影響が、成、壮、老年期の歯牙、歯肉疾患に結びつき、健康の保持、向上を阻害する大きな原因となっております。

従って、口腔衛生学、特に小児歯科学に対する研究を今後いっそう振興し、適切な施策を樹ていなければ、国民保健上、由々しき事態の招来を憂うものであります。

現在まで、事業を通じて口腔衛生運動の普及につとめて参りましたが、今回、叙勲の栄光を機会にいささかながら私財を提供して、富徳会なる財団法人を設け、その果実をもって、口腔衛生並びに児童を対象とする歯科疾患の予防と治療に関する学術的研究者の助成をすることにより、社会の福祉に奉仕いたしたく存じます。

昭和46年2月8日

設立者代表 財団法人 富 徳 会
小 林 富 次 郎